

第6回厚木飛行場からの空母艦載機の移駐等に関する協議会の開催結果について

■ 日 時 2016年5月25日(水) 14時30分～15時10分

■ 場 所 神奈川県庁新庁舎5階 新庁応接室(横浜市中区日本大通1)

■ 出席者 防衛省南関東防衛局長、神奈川県副知事及び厚木飛行場周辺9市(※)副市長等
※ 町田市、横浜市、相模原市、藤沢市、茅ヶ崎市、大和市、海老名市、座間市及び綾瀬市

■ 結果概要

(1) 国からの説明要旨

ア 厚木飛行場からの空母艦載機の移駐に係る進捗状況について

- 平成29年頃までの移駐完了に向けて、以下のとおり施設整備は着実に進捗している。
 - ・ 岩国飛行場の輸送ターミナル地区、空母艦載機部隊地区及びコミュニティ地区において駐機場や格納庫等の整備を実施している。
 - ・ 愛宕山地区においては、家族住宅や運動施設等の整備に着手しており、祖生通信所地区においては、通信施設の整備に着手している。
 - ・ 平成28年度については、岩国飛行場内の司令部関連施設や愛宕山地区の家族住宅等の予算を計上しており、これらの契約執行に万全を期し、本事業を着実に進めてまいりたい。
- 具体的な移駐時期については、現在、日米間で協議中であり、現時点で確たることを申し上げることは困難。
- 移駐後の厚木飛行場の運用については、日米間で協議を行っているところであるが、当該移駐により、厚木飛行場周辺の騒音状況は相当程度軽減されるものと考えている。

イ 厚木飛行場周辺住民及び自治体の負担の軽減策について

- 住宅防音工事については、予算を確保し着実な進捗を図っているほか、近年の取組としては、防音建具の機能復旧工事の希望届けについて一部制限を緩和するなど努力している。

(2) 自治体からの発言要旨

- 住民は移駐を期待しており、移駐時期が迫るなかで、移駐後も騒音が変わらないと受け止められるような報道があれば住民は動揺する。住民の不安を受け止め、しっかり取り組んで欲しい。
- 今年、硫黄島での着陸訓練に関連して、今月も住民から多数の苦情を受けている。移駐までの間も騒音被害軽減策についてしっかり取り組んでいただきたい。
- 住宅防音工事助成対象区域外からも騒音苦情がある。対象区域拡大等の対応をしていただきたい。
- 今後は特に、移駐は具体的にいつ、どのように行われるのか、また、移駐後、厚木基地はどうなっていくのか、といったことについて、情報提供いただきたい。
- 「平成29年頃まで」とされる空母艦載機の移駐時期が間近に迫っており、一日も早い移駐に向けてご尽力いただきたい。